

保護者あてアンケート集計結果(6月20日現在 150人発送、うち回答者 計98名)

資料6

1. 他の施設への転所等について (一つに○をつけてください)	選択肢	回答数	割合
	A 民間入所施設への転所希望	0	0.0%
	B グループホームへの移行希望	0	0.0%
	C A・Bどちらでも空きがあれば希望	1	1.0%
	D 引き続き《養育園》《更生園》に入所希望	78	81.3%
	E どちらとも言えない	17	17.7%
	計	96	100.0%

2. 1でA～Cに回答した方が御回答ください 1) 転所希望の理由	選択肢	回答数	割合
	A 事業団の改善に期待できない	1	25.0%
	イ センターの先行きが不安	1	25.0%
	ウ 利用者の環境を変えたい	2	50.0%
	エ その他(具体的に:)	0	0.0%
	計	4	100.0%

2) 希望する転所先(一つに○をつけてください)	選択肢	回答数	割合
	A 県内であれば問わない	1	33.3%
	イ 所在地が地元市町村を希望	0	0.0%
	ウ 県内外を問わない	1	33.3%
	エ その他(具体的に:)	1	33.3%
	計	3	100.0%

3. 1でDに回答した方が御回答ください (複数回答可)	選択肢	回答数	割合
	A 事業団の改善に期待している	55	23.4%
	イ 利用者の環境を変えたくない	68	28.9%
	ウ 転所先に今まで以上のサービスを期待できない	26	11.1%
	エ 今回の事件は運営者(事業団)の責任であり、責任もって今後も利用者を処遇すべき	35	14.9%
	オ 今回の事件は行政(県)の責任であり、責任もって今後も利用者を処遇すべき	33	14.0%
	カ その他(具体的に:)	18	7.7%
	計	235	100.0%

4. 1でEに回答した方が御回答ください	選択肢	回答数	割合
	A 受入れ先の立地や支援状況がわからない状況では決められない	13	24.5%
	イ 利用者の環境を変えることに不安がある	12	22.6%
	ウ 転所を含めた今後の暮らし方について相談できる専門職がいらないから不安である	9	17.0%
	エ 今後事業団が改善されるかみてから判断したい	9	17.0%
	オ その他(具体的に:)	10	18.9%
	計	53	100.0%

※ガイダンスどおりに記入していない分を含め、延べ人数で集計しているため、総回答者数とは一致しない。

入所施設あてアンケート集計結果(6月20日現在 74団体発送、うち回答72団体)

参考:平成26年5月1日現在 知的障害児に対する入所支援施設数 8施設 定員合計 321人(養育園を除いた施設数・定員合計)

平成26年5月1日現在 知的障害者に対する入所支援施設数 66施設 定員合計 3,515人(更生園・アドバンスながうらを除いた施設数・定員合計)

I. 袖ヶ浦福祉センター《養育園》《更生園》入所者の受入れについて

1. 受入れについて (一つに○をつけてください)	選択肢	回答数	割合
	A ケースを問わず受入れ協力できる	0	0.0%
	B ケースによっては受入れ協力できる	20	27.8%
	C 当面は受入れ困難	51	70.8%
	D その他()	1	1.4%
	計	72	100.0%

2. A又はBの場合に御回答ください (1)受入れ協力できる理由(複数回答可)	選択肢	回答数	割合
	A 現在定員が空いているから	3	10.3%
	イ 定員超過にはなるが条例(指導基準)の範囲内だから	4	13.8%
	ウ 障害者施設として虐待の被害者救済等の社会的責任を果たしたいと考えているから	17	58.6%
	エ その他(具体的に:)	5	17.2%
	計	29	100.0%

(2)受入れ可能な人数 (一つに○をしてください)	選択肢	回答数	割合
	A 1名	12	60.0%
	イ 2名	3	15.0%
	ウ 3名～	0	0.0%
	エ 定員超過による条例(指導基準)の範囲内の人数	5	25.0%
	計	20	100.0%

3. Bの場合に御回答ください (1)受入れが困難なケース(複数回答可)	選択肢	回答数	割合
	A 強度行動障害の人	14	20.3%
	イ 医療的ケア(喀痰吸引・経管栄養)が必要な人	17	24.6%
	ウ ミキサー・ペースト等の摂食嚥下対応が必要な人	4	5.8%
	エ 歩行困難、入浴・排泄の全介助の人	5	7.2%
	オ 感染症(疥癬・結核・肝炎等)の対応が必要な人	16	23.2%
	カ 盗癖や暴力等の反社会的行動のある人	13	18.8%
	キ その他()	0	0.0%
	計	69	100.0%

(2)受け入れるための設備変更が必要か (一つに○をし、Aに○をした方は (ア)の設間にも御回答ください)	選択肢	回答数	割合
	A 必要 ① 可能	0	0.0%
	② 困難:立地	0	0.0%
	② 困難:建物	1	5.0%
	② 困難:費用	0	0.0%
	② 困難:その他()	0	0.0%
	イ 不要	9	45.0%
	ウ 現状では不明	10	50.0%
	計	20	100.0%

4. Cの場合に御回答ください(複数回答可)	選択肢	回答数	割合
	A 定員に空きがない	44	34.6%
	I 既に待機者が控えている	19	15.0%
	U 居室がない	25	19.7%
	E 職員が不足している	12	9.4%
	O 行動障害に対応できる職員がいない	13	10.2%
	K 日中活動の提供が困難	5	3.9%
	K その他(具体的に:)	9	7.1%
	計	127	100.0%

Ⅱ. 袖ヶ浦福祉センターの強度行動障害者支援事業等の支援ノウハウの情報発信等について

1. 平成16年以降に強度行動障害者支援事業等で蓄積された入所施設における支援ノウハウの情報発信等があったか(一つに○をしてください)	選択肢	回答数	割合
	A あった	42	58.3%
	B なかった(知らなかった)	30	41.7%
	計	72	100.0%

2. 支援ノウハウの情報発信の内容について御記入ください	回答あり	回答数	割合
		28	66.7%
	計	28	66.7%

3. 情報発信の方法について御回答ください(複数回答可)	選択肢	回答数	割合
	A センター主催の研修・事例検討会	40	80.0%
	I 他機関主催の研修等におけるセンター職員の事例報告・発表	4	8.0%
	U 問合せ・相談に対する回答	3	6.0%
	E その他(具体的に:)	3	6.0%
	計	50	100.0%

4. 2・3で回答した場合に御回答ください(一つに○をしてください)	選択肢	回答数	割合
	A 有益だった	17	40.5%
	I 有益でなかった	2	4.8%
	U どちらとも言えない	23	54.8%
	計	42	100.0%

Ⅲ. 県が掲げた袖ヶ浦福祉センターのあり方(役割や事業内容)について

1 更生園について 1) 上記の更生園のあり方(事業内容)が達成されていると思うか(該当する項目一つに○を記入してください)

① 強度行動障害者支援等の手厚い介護が必要な障害者へのサービスの提供	選択肢	回答数	割合
	A 達成している	3	4.2%
	I ある程度達成している	25	34.7%
	U 達成していない	8	11.1%
	E わからない	36	50.0%
	計	72	100.0%

② 特別な介護・医療的ケアの必要な知的障害者へのサービスの提供	選択肢	回答数	割合
	A 達成している	1	1.4%
	I ある程度達成している	18	25.0%
	U 達成していない	6	8.3%
	E わからない	47	65.3%
	計	72	100.0%

③ 強度行動障害者支援事業等の蓄積された支援ノウハウの情報発信等による民間施設との連携強化	選択肢	回答数	割合
	ア 達成している	0	0.0%
	イ ある程度達成している	10	13.9%
	ウ 達成していない	23	31.9%
	エ わからない	39	54.2%
	計	72	100.0%

④ 入所者の地域生活移行の推進	選択肢	回答数	割合
	ア 達成している	0	0.0%
	イ ある程度達成している	11	15.3%
	ウ 達成していない	11	15.3%
	エ わからない	50	69.4%
	計	72	100.0%

2 養育園について 1)上記の養育園のあり方(事業内容)が達成されていると思うか(該当する項目一つに○を記入してください)

① 強度行動障害児等の手厚い介護が必要な障害児、被虐待児への支援	選択肢	回答数	割合
	ア 達成している	1	1.4%
	イ ある程度達成している	16	22.2%
	ウ 達成していない	13	18.1%
	エ わからない	42	58.3%
	計	72	100.0%

② 被虐待児童の緊急一時保護を含めたセーフティネット機能	選択肢	回答数	割合
	ア 達成している	1	1.4%
	イ ある程度達成している	15	20.8%
	ウ 達成していない	7	9.7%
	エ わからない	49	68.1%
	計	72	100.0%

IV. その他御意見(自由記載)

	回答あり	回答数	割合
		29	100.0%
	計	29	100.0%

GH系法人あてアンケート集計結果(6月20日現在 150団体発送、うち回答137団体)

参考:平成24年度末 県内グループホーム・ケアホーム数 204事業所 定員合計 2,855人

※アンケートの発送については、入所施設を運営せずグループホームのみを運営している法人に対して送付。

I. 袖ヶ浦福祉センター《養育園》《更生園》入所者の受入れについて

1. 受入れについて (一つに○をつけてください)	選択肢	回答数	割合
	A ケースを問わず受入れ協力できる	1	0.7%
	B ケースによっては受入れ協力できる	25	18.2%
	C 当面は受入れ困難	95	69.3%
	D その他()	16	11.7%
	計	137	100.0%

2. A又はBの場合に御回答ください (1)受入れ協力できる理由(複数回答可)	選択肢	回答数	割合
	A 現在定員が空いているから	12	35.3%
	イ 定員超過にはなるが条例(指導基準)の範囲内だから	3	8.8%
	ウ 障害者施設として虐待の被害者救済等の社会的責任を果たしたいと考えているから	13	38.2%
	エ その他(具体的に:)	6	17.6%
	計	34	100.0%

(2)受入れ可能な人数 (一つに○をしてください)	選択肢		割合
	A 1名	14	53.8%
	イ 2名	6	23.1%
	ウ 3名～	2	7.7%
	エ 定員超過による条例(指導基準)の範囲内の人数	4	15.4%
	計	26	100.0%

3. Bの場合に御回答ください (1)受入れが困難なケース(複数回答可)	選択肢	回答数	割合
	A 強度行動障害の人	20	18.5%
	イ 医療的ケア(喀痰吸引・経管栄養)が必要な人	20	18.5%
	ウ ミキサー・ペースト等の摂食嚥下対応が必要な人	18	16.7%
	エ 歩行困難、入浴・排泄の全介助の人	14	13.0%
	オ 感染症(疥癬・結核・肝炎等)の対応が必要な人	19	17.6%
	カ 盗癖や暴力等の反社会的行動のある人	13	12.0%
	キ その他()	4	3.7%
	計	108	100.0%

(2)受け入れるための設備変更が必要か (一つに○をし、Aに○をした方は (ア)の設間にも御回答ください)	選択肢	回答数	割合
	A 必要 ① 可能	1	3.6%
	② 困難:立地	1	3.6%
	② 困難:建物	3	10.7%
	② 困難:費用	3	10.7%
	② 困難:その他()	0	0.0%
	イ 不要	11	39.3%
	ウ 現状では不明	9	32.1%
	計	28	100.0%

4. Cの場合に御回答ください(複数回答可)	選択肢	回答数	割合
	A 定員に空きがない	51	26.7%
	I 既に待機者が控えている	22	11.5%
	U 居室がない	19	9.9%
	E 職員が不足している	15	7.9%
	O 行動障害に対応できる職員がいない	49	25.7%
	K 日中活動の提供が困難	22	11.5%
	K その他(具体的に:)	13	6.8%
	計	191	100.0%

Ⅱ. 袖ヶ浦福祉センターの強度行動障害者支援事業等の支援ノウハウの情報発信等について

1. 平成16年以降に強度行動障害者支援事業等で蓄積された入所施設における支援ノウハウの情報発信等があったか(一つに○をしてください)	選択肢	回答数	割合
	A あった	5	3.6%
	B なかった(知らなかった)	132	96.4%
	計	137	100.0%

2. 支援ノウハウの情報発信の内容について御記入ください	回答あり	回答数	割合
		3	100.0%
	計	3	100.0%

3. 情報発信の方法について御回答ください(複数回答可)	選択肢	回答数	割合
	A センター主催の研修・事例検討会	5	62.5%
	I 他機関主催の研修等におけるセンター職員の事例報告・発表	1	12.5%
	U 問合せ・相談に対する回答	2	25.0%
	E その他(具体的に:)	0	0.0%
	計	8	100.0%

4. 2・3で回答した場合に御回答ください(一つに○をしてください)	選択肢	回答数	割合
	A 有益だった	3	60.0%
	I 有益でなかった	0	0.0%
	U どちらとも言えない	2	40.0%
	計	5	100.0%

Ⅲ. 県が掲げた袖ヶ浦福祉センターのあり方(役割や事業内容)について

1 更生園について 1) 上記の更生園のあり方(事業内容)が達成されていると思うか(該当する項目一つに○を記入してください)

① 強度行動障害者支援等の手厚い介護が必要な障害者へのサービスの提供	選択肢	回答数	割合
	A 達成している	2	1.5%
	I ある程度達成している	18	13.1%
	U 達成していない	12	8.8%
	E わからない	105	76.6%
	計	137	100.0%

② 特別な介護・医療的ケアの必要な知的障害者へのサービスの提供	選択肢	回答数	割合
	A 達成している	2	1.5%
	I ある程度達成している	18	13.1%
	U 達成していない	9	6.6%
	E わからない	108	78.8%
	計	137	100.0%

③ 強度行動障害者支援事業等の蓄積された支援ノウハウの情報発信等による民間施設との連携強化	選択肢	回答数	割合
	ア 達成している	0	0.0%
	イ ある程度達成している	9	6.6%
	ウ 達成していない	27	19.7%
	エ わからない	101	73.7%
	計	137	100.0%

④ 入所者の地域生活移行の推進	選択肢	回答数	割合
	ア 達成している	1	0.7%
	イ ある程度達成している	9	6.6%
	ウ 達成していない	14	10.2%
	エ わからない	113	82.5%
	計	137	100.0%

2 養育園について 1)上記の養育園のあり方(事業内容)が達成されていると思うか(該当する項目一つに○を記入してください)

① 強度行動障害児等の手厚い介護が必要な障害児、被虐待児への支援	選択肢	回答数	割合
	ア 達成している	0	0.0%
	イ ある程度達成している	14	10.2%
	ウ 達成していない	22	16.1%
	エ わからない	101	73.7%
	計	137	100.0%

② 被虐待児童の緊急一時保護を含めたセーフティネット機能	選択肢	回答数	割合
	ア 達成している	1	0.7%
	イ ある程度達成している	10	7.3%
	ウ 達成していない	15	10.9%
	エ わからない	111	81.0%
	計	137	100.0%

IV. その他御意見(自由記載)

	回答あり	回答数	割合
		52	100.0%
	計	52	100.0%

県立施設袖ヶ浦福祉センター《養育園》《更生園》利用者の保護者の方へのアンケート

本用紙や返信用封筒に御住所やお名前を記載していただく必要はありません

平成 26 年 3 月 25 日に第三者検証委員会が県に提出した中間報告では、「県によれば、家族からの転所の希望はなく、また、県において県内施設に打診したところ、利用者の受入先はなかったとのことである。この点、緊急時の対応という側面は否定しないが、県がより積極的な対応を図ることができなかったのか、なお検証が必要である。」としており、この点につき第三者検証委員会で検証・検討を行うにあたり、保護者の皆様の率直な御意見を伺うために匿名でのアンケートを実施することとしたものです。

なお、このアンケートは第三者検証委員会が検証・検討を目的として行うものであり、検討・検証後、県に対し答申（最終報告）を提出し、今後の施設運営や県の施策検討の参考とするよう求めるものです。

1. 他の施設への転所等について（一つに○をつけてください）

- | | | |
|-----------------------|---|-----|
| A 民間入所施設への転所希望 | } | ⇒2へ |
| B グループホームへの移行希望 | | |
| C A・B どちらでも空きがあれば希望 | | |
| D 引き続き《養育園》《更生園》に入所希望 | | ⇒3へ |
| E どちらとも言えない | | ⇒4へ |

2. 1でA～Cに回答した方が御回答ください

1) 転所希望の理由（複数回答可）

- | | | |
|-----------------|---------------|---|
| ア 事業団の改善に期待できない | イ センターの先行きが不安 | |
| ウ 利用者の環境を変えたい | エ その他（具体的に： | ） |

2) 希望する転所先（一つに○をつけてください）

- | | | | |
|--------------|----------------|------------|---|
| ア 県内であれば問わない | イ 所在地が地元市町村を希望 | ウ 県内外を問わない | |
| エ その他（具体的に | | | ） |

3. 1でDに回答した方が御回答ください（複数回答可）

- | | |
|--|---|
| ア 事業団の改善に期待している | |
| イ 利用者の環境を変えたくない | |
| ウ 転所先に今まで以上のサービスを期待できない | |
| エ 今回の事件は運営者（事業団）の責任であり、責任もって今後も利用者を処遇すべき | |
| オ 今回の事件は行政（県）の責任であり、責任もって今後も利用者を処遇すべき | |
| カ その他（具体的に： | ） |

4. 1でEに回答した方が御回答ください（複数回答可）

- | | |
|---|---|
| ア 受入れ先の立地や支援状況がわからない状況では決められない | |
| イ 利用者の環境を変えることに不安がある | |
| ウ 転所を含めた今後の暮らし方について相談できる専門職がいらないから不安がある | |
| エ 今後事業団が改善されるかみてから判断したい | |
| オ その他（具体的に： | ） |

御回答ありがとうございました

県立施設袖ヶ浦福祉センターに関するアンケート

法人(施設)名 _____

記入者名 _____

電話番号 _____

I. 袖ヶ浦福祉センター《養育園》《更生園》入所者の受入れについて

平成 26 年 3 月 25 日に第三者検証委員会が県に提出した中間報告では、「県によれば、家族からの転所の希望はなく、また、県において県内施設に打診したところ、利用者の受入先はなかったとのことである。この点、緊急時の対応という側面は否定しないが、県がより積極的な対応を図ることができなかったのか、なお検証が必要である。」としており、この点につき第三者検証委員会で検証を行うにあたり、県内関係施設の皆様の御意見を伺うためのアンケートです。

なお、このアンケートは第三者検証委員会が検証・検討を目的として行うものであり、検討・検証後、県に対し答申（最終報告）を提出し、今後の施設運営や県の施策検討の参考とするよう求めるものです。

1. 受入れについて（一つに○をしてください）

- A ケースを問わず受入れ協力できる ⇒2へ
- B ケースによっては受入れ協力できる ⇒2、3へ
- C 当面は受入れ困難 ⇒4へ
- D その他(_____)

2. A 又は B の場合に御回答ください

(1)受入れ協力できる理由（複数回答可）

- ア 現在定員が空いているから
- イ 定員超過にはなるが条例（指導基準）の範囲内だから
- ウ 障害者施設として虐待の被害者救済等の社会的責任を果たしたいと考えているから
- エ その他(具体的に _____)

(2)受入れ可能な人数（一つに○をしてください）

- ア 1名 イ 2名 ウ 3名～ エ 定員超過による条例（指導基準）の範囲内の人数

3. B の場合に御回答ください

(1)受入れが困難なケース（複数回答可）

- ア 強度行動障害の人
- イ 医療的ケア（喀痰吸引・経管栄養）が必要な人
- ウ ミキサー・ペースト等の摂食嚥下対応が必要な人
- エ 歩行困難、入浴・排泄の全介助の人
- オ 感染症（疥癬・結核・肝炎等）の対応が必要な人
- カ 盗癖や暴力等の反社会的行動のある人
- キ その他(_____)

(2)受け入れるための設備変更が必要か(一つに○をし、アに○をした方は(ア)の設問にも御回答ください)

ア 必要(具体的に記述:[例:静養室⇒居室])

(ア)設備変更が現状で可能か困難か御回答ください(困難な場合はその理由も御回答ください)

⇒ ① 可能

② 困難(立地・建物・費用・その他)(複数回答可)

イ 不要

ウ 現状では不明

4. Cの場合に御回答ください(複数回答可)

ア 定員に空きがない

イ 既に待機者が控えている

ウ 居室がない

エ 職員が不足している

オ 行動障害に対応できる職員がいない

カ 日中活動の提供が困難

キ その他(具体的に

)

Ⅱ. 袖ヶ浦福祉センターの強度行動障害者支援事業等の支援ノウハウの情報発信等について

平成 26 年 3 月 25 日に第三者検証委員会が県に提出した中間報告では、「センターは、県立施設として強度行動障害支援等に先駆的に取り組み、民間施設では支援が困難な人を受け入れる旨示し、その役割を担ってきた。更生園においては、スーパーバイザーの定期的な指導・助言のもと、強度行動障害者の行動改善を図り、一定の成果が得られている。他方、「あり方」の提示において挙げられた、支援ノウハウの情報発信等による民間施設等との連携強化に係る取り組みについては、それを評価する声は聞こえてこず、不十分であったと考えられ、検証が必要である。」としており、この点につき第三者検証委員会で検証を行うにあたり、県内関係施設の皆様の御意見を伺うためのアンケートです。

1. 平成 16 年以降に強度行動障害者支援事業等で蓄積された入所施設における支援ノウハウの情報発信等があったか(一つに○をしてください)

A あった ⇒2、3、4へ

B なかった(知らなかった) ⇒終了

2. 支援ノウハウの情報発信の内容について御記入ください(自由記載)

3. 情報発信の方法について御回答ください(複数回答可)

ア センター主催の研修・事例検討会

イ 他機関主催の研修等におけるセンター職員の事例報告・発表

ウ 問合せ・相談に対する回答

エ その他(具体的に

)

4. 2・3で回答した場合に御回答ください(一つに○をしてください)

ア 有益だった

イ 有益でなかった

ウ どちらとも言えない

Ⅲ. 県が掲げた袖ヶ浦福祉センターのあり方(役割や事業内容)について

平成 26 年 3 月 25 日に第三者検証委員会が県に提出した中間報告では、「地域資源との連携や地域移行、保護者支援に向けた取組みも含め、その「あり方(役割や事業内容)」が実現されたのか、今後どうあるべきか、県内の様々な関係者の意見を聴きながら検討する必要がある」としており、この点につき第三者検証委員会で検証を行うにあたり、県内関係施設の皆様の御意見を伺うためのアンケートです。

1. 更生園について掲げたあり方(事業内容)

- ①強度行動障害者支援等の手厚い介護が必要な障害者へのサービスの提供
- ②特別な介護・医療的ケアの必要な知的障害者へのサービスの提供
- ③強度行動障害者支援事業等の蓄積された支援ノウハウの情報発信等による民間施設との連携強化
- ④地域生活移行の取組み強化

2. 養育園について掲げたあり方(事業内容)

- ① 強度行動障害児等の手厚い介護が必要な障害児、被虐待児への支援
- ② 被虐待児童の緊急一時保護を含めたセーフティネット機能の強化

1 更生園について

1)上記の更生園のあり方(事業内容)が達成されていると思うか(該当する項目一つに○を記入してください)

- ① 強度行動障害者支援等の手厚い介護が必要な障害者へのサービスの提供
 - ア 達成している イ ある程度達成している ウ 達成していない エ わからない
- ② 特別な介護・医療的ケアの必要な知的障害者へのサービスの提供
 - ア 達成している イ ある程度達成している ウ 達成していない エ わからない
- ③ 強度行動障害者支援事業等の蓄積された支援ノウハウの情報発信等による民間施設との連携強化
 - ア 達成している イ ある程度達成している ウ 達成していない エ わからない
- ④ 入所者の地域生活移行の推進
 - ア 達成している イ ある程度達成している ウ 達成していない エ わからない

2 養育園について

1)上記の養育園のあり方(事業内容)が達成されていると思うか(該当する項目一つに○を記入してください)

- ① 強度行動障害児等の手厚い介護が必要な障害児、被虐待児への支援
 - ア 達成している イ ある程度達成している ウ 達成していない エ わからない
- ② 被虐待児童の緊急一時保護を含めたセーフティネット機能
 - ア 達成している イ ある程度達成している ウ 達成していない エ わからない

Ⅳ. その他御意見(自由記載)

御回答ありがとうございました